新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵稅一ケ月拾五錢
廣告料 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三二〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 永越內之介

反省の眞意なきかぎり 所期の目的に邁進

事變對策、四相重要協議

【東京國通】政府は六日の四相會議の結果に基き同日午後四時內閣書記官長談の形式をもつて左の如く發表した

蔣政府は南京を失つてより奧地に入り頻りに虛勢を示しつゝあるも、最近の情勢を判斷するに我軍の威力と國民の決意いよ／＼固きものあるに懼れをなし和を求めんとする意向漸く顯著なるもの丶如くである、しかしながら我方としては東亞百年和平の保障を求めんがためにこそ今次の聖戰に多大の犧牲を拂ひつゝあるのであつて、若し支那側が如實に反省の眞意を示すなら兎も角我方としてはあくまで所期の目的達成に邁進すべく、今後この決意の下に萬般の對策を講ずることにつき總理ならびに陸海外三相の間に隔意なき懇談を遂げた

近衛首相參內

【東京國通】近衛首相は六日午後四時半宮中に參內、天皇陛下に拜謁仰付られ、同日の四相會議の結果を奏上し、さらに新設厚生省大臣について內奏した

濟寧の敵陣を猛攻

【濟南六日發國通】四日兗州を占領東南方に殘敵を急追中の桑田快速部隊は五日午後孫氏店、除家橋に據る有力な敵部隊を猛攻し激戰の後これを擊破潰滅し破竹の勢をもつて前進目下濟寧の敵陣を攻擊中である、濟寧には孫桐萱の二十師と谷良民の二十二師からなる大部隊が陣地を構築して抵抗を試みてゐる

膠濟、粵漢線を爆擊

【上海六日發國通】海軍航空隊は昨五日膠濟、粵漢兩鐵路沿線に翔び膠濟沿線に於ては膠縣、諸城附近の敵密集部隊及び輸送自動車に重爆擊を加へ又粵漢沿線にては黎洞附近の鐵道線路を爆破何れも全機無事歸還した

海軍初め觀兵式

横須賀練兵場で擧行

【横須賀國通】横須賀鎭守府海陸空の精鋭を網羅する海軍初め觀兵式は六日午後一時半から初春の陽光輝く横須賀海兵團の大練兵場において擧行陸戰隊指揮官海兵團長副島少將は各艦團部隊、海軍各學校から選拔の陸戰隊〇〇〇〇の大部隊を指揮、空軍の指揮官堀江少將は約二〇〇機の荒鷲隊を指揮、午後一時半鎭守府司令長官百武大將は幕僚を從へ式場に臨み、軍樂隊の行進曲に伴ひ劍光初春の陽光に燦として輝く中を壯觀なる分列式を閱兵、二時半閉式した

陸軍始め觀兵式 あす擧行

【東京國通】習志野陸軍始習志野觀兵式は、八日午前十時より習志野原において擧行されるが、參加部隊は鐵道第二聯隊、戰車第二聯隊、騎兵第十五聯隊、騎兵第十六聯隊、騎砲聯隊、騎兵學校教導隊、習志野學校、陸軍病院八個部隊の精鋭約五千名が小倉大佐諸兵指揮のもとに堂々行進分列式を行ひ、若松少將閱兵をなし晴れの式を終了するが、この觀兵式に滿洲國から選拔されて士官學校に來月十二日入隊のため騎兵第十五聯隊に舊臘入營した同國騎兵中尉文治思、砲兵中尉梁啓章、騎兵中尉關致堂、同トクルチャップ、同フリチンケイ、同藏靜、同高海崑、同郎英元、砲兵少尉孫貫卿、同傳連和の十將校が上等兵(士官候補生)の日本軍裝で參加する筈であるが、右十君は大喜びで當日を待望してゐる

厚生省大臣は木戸文相兼任

【東京國通】新設厚生省大臣は木戸文相の兼任と決定した

廣東を中心に戰備

支那、長期抵抗を豪語

【ニューヨーク五日發國通】蔣介石は最近政府組織の改組を斷行したが、五日ニューヨークに達した漢口A・P電に依れば、軍事關係の新組織は左の如く決定した

一、蔣介石は軍事委員長として軍事を總攬し經濟及び重工業の統制は孔祥熙がその任に當る

一、軍事委員會を改組し作戰、軍事訓練、軍政、政治、訓練、軍法、運輸、宣傳の六部とす

更にA・P電によれば、新作戰に備ふる新兵の徴募は各地に於て大規模に行はれつゝあり、支那側では春までに第八十個師の編成を完了し得る見込みで、長期抗戰に備ふる軍費及び彈藥の準備は充分なりと豪語してゐる

【ニューヨーク五日發國通】A・P廣東特派員は南支の支那軍戰備につき四日次の如く報じてゐる

支那軍は來るべき戰に備へ廣東を中心に着々戰備を整へてをり、現在廣東には余漢謀の第四路軍約十五萬に廣西軍二個師一萬二千乃至五千が駐屯してゐるが、さらに情勢如何によつては雲南、廣西その他の諸地方から增援部隊が來着する形勢である

廣東民衆武裝化

【香港五日發國通】廣東省內の民衆抗敵武裝に關しては連日余漢謀が主席となり各關係長官及び廣東軍首腦陳銘樞、蔣光鼐、蔡廷楷、香翰屏、李福林等を招集して具體案を協議中であつたが、大體決定をみたので最初民衆自衛委員會を組織して綏靖公署の管轄下に置き正副主任及び委員若干名を設け、主任には陳銘樞を任命し、蔣光鼐、蔡廷楷、李福林、香翰屏以下各師團長、各司令、總司令部參謀長等を委員とすることゝなつた、計畫案の內容は廣東省沿岸軍事要地を七區の特別自衛區に分ち、その地勢に應じて二縣或は三縣をもつて負擔自衛區となし、これを十六乃至廿區設定し、その自衛區內に居住する十八歳以上四十歳までの男子をもつて自衛團を編成し、將來はこれ等を正規軍化せんとするものである

抑留支那船舶 一部は解放 一部は抑留

【大連國通】昨夏勃發した事變に際し帝國海軍は支那沿岸封鎖を敢行、これが徹底を期するため日滿各關係當局では同年八月廿二日以來滿洲國ならびに關東州の日滿兩國領海內を航行する支那汽船、發動汽船ならびに戎克の一齊抑留に着手したが、右抑留船舶は總數約二百隻に上りこれ等船舶乘組員は抑留と同時に支那へ送還、抑留船舶中の半は廟島列島以北航行のみを認め嚴重監視のうちに解放し、その他は目下各港に抑留中であるなほこれ等船舶の利用方法については目下關係方面で考慮を拂つてゐる

北京、天津兩市長更迭

【北京六日發國通】中華民國臨時政府は五日の議政委員會々議において、北京、天津特別市長の更迭を決定し、六日臨時政府令をもつて左の如く發令した

臨時政府委員兼北京特別市長 江朝宗 免兼職
特任北京特別市長兼北京警察局長 余晉
臨時政府委員河北省長暫遣天津特別市長 高凌霨
免市長兼職 北京市警察局長 潘毓桂
免本職 特任天津特別市長

米國々防豫算 十一億弗を突破

【ワシントン五日發國通】ルーズヴエルト大統領は五日議會に對し豫算教書を送つたが豫算は赤字克服のため一般公共事業費の大削減を行ひながら一方國防費が前年度の九億五千七百萬弗から九億九千百萬弗といふ平和時における未曾有の巨額に達してゐること注目される。これに公共事業費から支辨されるものを加算すれば優に十一億弗を突破するが、ル大統領は教書の中で

國際情勢の推移に伴ひ國防豫算はさらに追加の必要に迫られるかも知れない

と述べてゐる、國防豫算中五億七千萬弗は海軍費で、その中にはすでに起工中の艦艇の建造繼續費のほか新たに主力艦二隻、輕巡洋艦二隻、驅逐艦八隻、潜水艦六隻、補助艦四隻の初年度建造費として一億四千三百萬弗が含まれてゐる、以上のほか國防豫算中の主なる項目は次の通り

一、海軍の兵員增加 水兵を五千五百七十名增加し平均十萬七千七百八十五名とする

一、新軍用機建造費 海軍二千三百萬弗、陸軍三千三百萬弗(陸軍航空豫算は總計一億四千萬弗となる)陸軍は新年度中に四百七十四機を增加し第一線機二千三百二十九機を維持せんとしてゐる

一、沿岸防備費として八十萬弗の追加支出を要求してゐる

內地在留中國人に 新政權參加說得

在鮮領事積極的に乘出す

【京城國通】半島在留三萬の中國人は擧つて中國臨時政府絕對支持を聲明して蔣政權より離脫し防共親日滿の目的下に五色旗を掲揚して新春を迎へ、京城總領事館を始め釜山元山、鎭南浦、新義州各領事館、仁川辨事處等在鮮中國各機關とも完全に新政權下にあつて新年を迎へ、その機能を發揮すべく決意を固めつゝあり、この際帝國政府の蔣政權承認取消の一刻も速かに敢行せられんことの要望が切實に感ぜられてゐるもの丶如くである、しかして新事態に處する在鮮中國各機關は鮮內の中國人全部の新政權參加が實現を見るに至つた今日さらにこれを內地在留中國人に擴大せしめ積極的に日支提携の具現につき重要役割を果さんとする意向を有してをり、釜山領事陳祖漢、新義州領事金祖惠の兩氏は新年早々內地に赴き右工作準備を固めつゝあり、近く京城總領事范漢生氏も自ら東上、大使館をはじめ同氏知己の間柄にある橫濱、長崎兩地領事その他中國各機關の說得に乘出すものと見られ、鮮內中國各機關の第二段工作は內地在留中國人に對する働きかけとなつてあらはれるものと注目されてゐる

大連支那人海運業者代表天津着

【天津六日發國通】在大連市支那人海運業者代表監督部員他四名は在外華僑の先陣を切つて六日正午濟通丸で來津し到着と同時に國民黨排擊、新政府絕對支持、東洋民族大同團結を强調せる「北支同胞に告ぐ」との聲明を發表、次で日支當局を訪問し感謝文を手交挨拶をなすところあつた、一行は更に北京に赴き王克敏氏をはじめ關係方面を歷訪し新政府激勵をなす筈だが、在外華僑の新政府支持者は益々增加をみせてゐる

中國々民黨神戸支部 脫黨を通告

【神戸國通】蔣政權の母體として鞏固たる勢力を持つてゐた中國々民黨は支那本國においても既に名のみの存在となつたので在外勢力として重きをなして來た神戸國民黨支部では舊臘支部解散につき協議した結果、支部員二百名は一人殘らず脫黨を表明、この程本國黨本部宛支部員脫黨による支部解散の通告をなした

寒風衝き漢口猛爆

【上海六日發國通】渡洋精鋭部隊〇〇機は六日午後一時半寒風を冒して長驅漢口に飛び漢口飛行場格納庫、兵舍および各重要軍事機關に〇〇キロの巨彈を浴びせ甚大なる損害を與へた、さらに千田、三木兩部隊〇〇機はこれと時を同じうして漢口に飛び相呼應して猛烈なる爆擊を敢行、多大の效果を收めて何れも全機無事歸還した

杭州城外の殘敵掃蕩

【杭州六日發國通】五日杭州城外西方三里の地點澄暨村に郎隊七の率ひる敗殘兵約八百が現れ掠奪暴行中との急報に接し〇〇警備隊では直ちに討伐隊を派遣、目下掃蕩中である

鮎川總裁等 あす來京

滿洲重工業開發株式會社鮎川總裁及び下河邊常務理事をはじめ全重役は來る八日午後十時新京驛着列車にて來京し十日ヤマトホテルに官民知名の士を招き新會社の披露を行ふことになつた、しかして鮎川總裁はこの後數日滯在し本社において創立後最初の重役會を開き外資導入、政府の出資等に關し種々打合を行ふ筈であるが、同會社にとり最も重要なる案件は十億と稱せらるゝ外資の導入問題で、本問題に關しては日本は勿論滿洲國政府と緊密な連絡をとり對策せらるべきに鑑み、在京中滿洲國政府を始め各機關と充分なる打合をとげる方針でありかくて各方面との打合の結果に基き最後案を決定し、この案を携行日本に歸り更に萬全の處置を講じた後渡米の方針である

支那事變を機に 東洋民族團結へ

印度民衆皇軍を支持

【カルカツタ五日發國通】支那事變の推移に對しインド人民衆は非常な興味をもつて注視してゐるが、彼等は日本の行動に對し左の如く正しき理解を有するとゝもに、事變の解決によつて東洋人の東洋が一日も早く建設せられんことを希望してゐる

今次支那事變に於る日本軍の進擊は支那抗日軍閥の徹底的膺懲と赤化勢力を一掃する聖戰なることは勿論なるも、われ／＼インド人としての立場からこれを靜かに見るときは、白色勢力から東洋民族が解放される尊い狼火が擧げられたと見るのが至當であり、いま日本軍によつて着々東洋民族の大同團結の基礎が築かれつゝあるのだ、ガンヂーの主張する東洋民族の大同團結と東洋人の東洋建設の二つのスローガンは、支那事變によつて更にインド人の腦裡に强く燒きつけられるに至つた、支那事變の解決は東洋民族解放の前奏曲であり、大アジア建設の基礎工作でなくてなんであらう、われ／＼インド人が英國の壓政から解放され東亞の盟主日本と相提携して東洋人の東洋建設運動に乘出すのも近き將來であらう

なほインド民衆は事變に刺戟され各所に反英運動を起し不穩の空氣が釀成されつゝあるので英國出先官憲はインド人の反英運動彈壓と懷柔策に腐心し、又今次の支那事變が導火線となつて反英、獨立運動となることを極度に警戒してゐる

中華民國新民會 首腦部決定

【北京六日發國通】中華民國新民會は六日中央部の重要職員を左の如く決定發表した

副會長 張燕卿
中央指導部々長 繆斌
中央指導部總務部長 小澤開策
中央指導部教化部長 宋介

江南主要都市に 保甲制實施

【杭州五日發國通】杭州軍當局は管下各地方の治安を速かに確立するため維持組織の基礎たる保甲制度を實施するに決定、既に憲兵隊指導の下に杭州、湖州、嘉興等の主要都市においてはその準備に着手し近日中に實施の運びとなつた

新民學院講師 講義課目決定

【北京六日發國通】新民學院は來る十日開校式を行ひ、十一日より愈よ授業を開始することになつたが、その講義課目、講師、時間を次の如く決定した

訓育 王克敏(週一時間)東洋政治學 鹿子木員信(同)鮑明鈐(同)朱華(同)行政學 赤羽穰(週二時間)官吏學 沈心畦(週一時間)財政學 瀧川政次郎(同)經濟學 王國棟(週三時間)張德潮 瀧川大郎(週二時間)法律學 岡徹一(週一時間)史地學 瀧川政次郎(同)橋川時雄(同)班書閣(同)鄭之誠(同)日本語 山口喜一郎(週七時間)錢稻孫(週四時間)

山西の小學校 親日教育開始

青年團は敗殘兵討伐

【石家莊六日發國通】敗殘兵が峻嶮に據つて抗日行動を續けてゐた山西方面でも最近では我軍に歸順するものが日々續出しこれ等は何れも皇化に潤つてゐるが、長凝鎭(太原東南方八里)では舊臘より附近四五ケ村の村長が集つて協議した結果、事變以來閉鎖してゐた小學校を開校し從來の赤化抗日教育を根本的に改め完全なる親日教育を行ふことになり、新年早々から新しい方針で授業を開始した、なほ附近各村の青年團では今日なほ頑迷にも日本軍に抵抗する敗殘兵によつて治安を紊されるのは山西復興に非常な障碍を來すので自分等の手で警備に當り、敗殘兵を掃蕩するとの固い決意の下に武裝自警團を組織し匪賊、敗殘兵討伐の第一線に立つことを決議し、我軍の訓練を受けたいと申出て目下猛烈なる訓練を受けてゐる

滿鐵新京支社 課長會議

滿鐵新京支社の課長會議は十日午前九時半から理事公館で開催する

人事往來

▲鈴木武實氏(會社員)六日東京ヤマトホテル
▲關根雄次氏(正金銀行員)同國都ホテル
▲池原久郎氏(滿蒙毛織)同
▲村椿順氏(同)同
▲曾木榮楠氏(商業)同向陽ホテル
▲酒井政之助氏(會社員)同
▲野添孝生氏(同)同
▲青山誠勝氏(同)同
▲鈴木義雄氏(同)同中央ホテル
▲山本清氏(木材商)同

偶語

日章旗躍る上海市中に最近日本軍隊日本官民並にわが在支權益の破壞を目的のテロ橫行に關し我方は租界治安の任に當れる工部局に對し重大要求を提出した▼それに對し工部局當局は重要な問題であるからなほよく研究して見やうと態よく回答を避けてゐる▼上海には前から支那人間に恐れられてゐる張發奎派があり、職業派、愛國派、强盜派等々▼入亂れて租界內を橫行する恐怖黨がありそれ等首領株はいづれも工部局の幹部に通じてゐるため滅多に逮捕されることはないのである▼工部局が我方の要求に明答を避ける理由がその邊にありとも見られるのである▼租界の治安が確立出來ないやうな工部局に任せることは單に日本人のみならず在上海一般民衆の最大の不幸である▼この際工部局が聽かなければ日本獨自の立場に於て斷乎防止手段を講ずることは止むを得ないことだ

社説

事變の進展と列國

一

支那事變の進展に應じて今や諸列國もその東亞に對する態度を再檢討し、或るものはそれにかなりの變更を行はねばならなくなつてゐると考へられる。一九ケ國條約會議が日本に對して何らの壓力をも持ち得なかつたこと、北支及び上海―南京を一貫した新政權が當然豫想されるに至つたこと、上海に於ける關稅問題、公益企業、埠頭、租界防衛等に關して英米がどれだけ自己の主張を通し得るか疑問となつてゐること、これらの動かすことの出來ぬ事實が列國に新しい態度の決定を要求してゐるのである。

二

新しい事態の下に於ける英國の立場を考へると、英國としては甚だ複雜な外交的驅引を行ふであらうと思はれる。その一つは米國を誘ひ、佛國を抱き込んで日本を壓迫し支那を援助することである。特に當面の問題としては支那の幣制を英米の壓力で維持し、香港、廣東、武漢、重慶、ビルマを連ねる經濟地域を強く押へこの根據地に依據して爾餘の支那に强力な影響を與へその勢力の擴張を策すると〻もに、またそのことに依つて國民政府の有力な實質的支柱となるに違ひない。今一つは獨逸との提携を策するであらうと考へられる。香港等に於いては最近日本に對する一種……ゼスチユアとも見らるものを示してゐるやうであるが、それがどれだけの重要を持つかは未だ疑はしいのである。獨逸は南京陷落の前に積極的に乘り出さうとして失敗した。尤も同様な事は今後も行はれるかも知れないが、英國が新政權に對して實質的にどのやうな態度に出るかは大いに注目さるべきところであらう。現實に即して見れば、英國の對極東政策は二股をかけ、その二つの間を動搖するであらうと見るのが確實であらう。動搖しない支那の支持者はソ聯である。

三

ソ支不可侵條約の締結が發表されたのは、事變が上海に及んだ時であつた。この條約の裏に密約の存在することも一般に想定されてゐる。ソ聯としては極力英米と步調をあはせ、英國の動搖性をチエツクしようと努めるであらう。一方直接的な武器の持ち込みも行つてゐる。事變の進展はますます〳〵この抱合を緊密化せざるを得なくしてゐる。今や事變は第二の段階に入つたのである。而して今後の動向を見るためには、國民政府自體の成り行きと、支那の國家經濟の實狀とともに、列國の對支態度に注意を拂はねばならぬ。支那國民黨は長期抵抗を續けることによつて列國の干涉を有利に誘發し得ると考へてゐることもわれらの注視を要するところである。

飛躍を期待される 本年の航空界動向

航空研究所技師　木村秀政

昭和十二年と云ふ年程、我國民の航空への關心が高められた年はないであらう、先づ神風號の輝しい亞歐連絡國際新記錄の樹立に始まり、帝大航空研究所長距離機の完成、續いて支那事變に於ける我が空軍の活躍、特にそれが世界一流の航空國たる米國、ソ聯等の技術を背景とする支那空軍に對する絶對的制覇なのであるから、これまで我國の航空技術は、歐米諸國のそれに比して遲れてゐるものとばかり考へてゐた國民の頭に、一轉して航空に於ても世界一流國たる自覺を與へたのであつた、事實公平に見ても、一九三七年の世界航空史には日本航空界の驚異的躍進が最も主要なトピツクとして揭げられるであらう

扨、新しい年を迎へて、世界の航空界は如何に動くであらう、躍進途上にある日本航空界の立場を具體的に述べることは、詳述する自由を有たぬから、極く一般的な問題についてその動向を推察しやう

△

先づ第一に飛行機の性能向上を擧げなければならぬ、性能向上と云ふことは、飛行機のシノニムのやうなもので、飛行機を論ずる場合、必ず一度は觸れねばならぬ問題である、筆者なども、いさゝか食傷の態であるが、飛行機生れて三十五年、その間の最も大きな動きは、性能の向上なのだからしかたがない

多くの性能の中でも、スピードの躍進は最も目覺しい、東京、大阪間五十分翔破と云ふやうな、數年前までは夢想だにしなかつた事が、どんどん實現されて行くのだから、痛快である

實用機の中で最も高速の單座戰鬪機は今年中に於て、每時五〇〇粁を突破し、五五〇粁の線に迫るであらう、一昔前は、鈍重なものと思はれてゐた爆撃機も、高速は最良の防禦力であると云ふ見地から、ひたすらスピードアツプを目指し、今年あたりは、確實に每時四〇〇粁を突破し、大型のものでも五〇〇粁に迫るものが現れるかも知れぬ、輸送機もスピード第一の社會の要求に應じて、三〇〇粁時代から、四〇〇粁時代への確實な步みを進めるであらう

スピードアツプの爲めには空氣抵抗を減ずることが最良の手段であり、片持翼、引込脚、その他各部の流線形化がその技術的對策であることは既に近代人の常識であるが、こうした見地からは、之以上改良の餘地がない、つまり行詰つたと觀察する人が多い、事實最新式の低翼單葉機が脚を引込めて飛行してゐる姿を見ると、さう云ふ感に打たれる

△

そこでスピードアツプの一つの對策として現在よりも、もつと高空を飛ぶと云ふことが問題にされ始めた、高空では空氣が稀薄になるから空氣抵抗が少くなる、一方空氣が稀薄になると發動機の馬力が低下する不利はあるが、これは過給機と云ふ一種のポンプで空氣を壓縮してやれば防止出來る、この考へから高空飛行が問題になつて來たのである、「神風」その他、現在の五〇〇粁級高速機は大部分四五千メートルの高空で始めて最高性能を發揮するやう設計されてゐるのである

この考へを更に進め、六千メートル邊りの高空を飛行する准成層圏旅客輸送機の出現が今年の大きな話題になりさうである、但し旅客機となると、乘客が一人一人防毒マスクのやうなもの〳〵しい高空服をつける譯には行かぬから客室は氣密にして外界と連絡を斷ち、別に送風機で新しい空氣を流通させねばならぬ、もし高空でこの氣密室が洩れ始めたらと云ふやうな心配に對しても、米國あたりでは既に實驗濟みである

△

空氣力學的改良により、飛行機の航續距離が增加したことも驚くべき程である、航研長距離機、ソ聯のＡＮＴ二五型等、長距離專門のものは別としても、哨戒飛行機、爆撃機、輸送機等の實用機でも、かなりの利用荷重を積んで五千粁を一氣に飛行出來るものが珍らしくなくなつた、之によつて太平洋及び大西洋橫斷の定期航空の實用性も愈よ確實味を增して來た、それにしても、爆撃機の航續距離增大は益々防空問題の重要さを切……

支那敗戰の跡を見る

關東軍囑託　根元武雄

敗戰のあと

南京政府は日本の軍力を輕視した、彼等は先づ奧行の廣い大陸を誇り、兵員の多數、兵器々材の優良、軍事施設の整備を自負し、殊に防空施設の完備と航空機の精巧に自惚れてゐた、彼等は常備兵力の數が日本に十數倍することを識つて、その實質が逆に數十分の一に過ぎないことを悟らなかつた

支那軍の誇つた地の利も皇軍には問題とならなかつた

支那軍は久しきに亙る戰役の經驗を自讃したが、それは雨傘と青龍刀との肉彈の經驗に過ぎない、三元性に發展した近代戰は、支那軍の毒瓦斯、毒彈、毒藥の三毒戰術で誤間化された

上海戰線で拾つた蔣介石署名の抗日戰鬪法を見ると、まるで子供の兵隊遊びを敎導するやうなものだ、元來、支那軍の戰線における構成は、前線に薄く後方に向つて漸次厚……

督戰隊發行

……

捕虜兵は斯くいふ

……

滿洲產業開發の現段階を觀る（下）

產業部次長　岸信介

二

次に產業開發の直接的對象となる主要產業部門を建國精神乃至經濟建設要綱に則り大別するに、前者に依りては移民問題の解決、後者に依りては農畜產部門及び鑛工業部門の開發が指摘されるのであるが、これ等各部門資源を經濟建設要綱の大目標に悖ることなく而も一國經濟政策を制約する內外の客觀的政治經濟狀勢に對應する如く開發することは重大且至難な問題である

先づ鑛工業就中重工業部門について述べるに重工業部門の開發については巨額の人的資源の動員が要求せらるゝものであること既述の所であるが、この點に就て日滿兩國閣議において夫々「日滿兩國々力充實の見地より可及的速かなる生產力擴充が要請せらるゝ現下非常時局において滿洲國の重工業資源の開發には日本經濟より强大なる人的資材を動員し而も眞に日滿兩國が一體となり滿洲各種產業の中樞たる重工業の綜合的經營に當り且一面において廣く世界に資本を需め特に先進重工業國の技術經驗を有效適切に利用する」ことに決定したのである

今試みに日本における生產力擴充に要する主要原料資源鐵、アルミニユーム、石油、石炭、パルプの需給狀態を見るに、鐵鑛は年約五百萬噸の需要あるにも拘らず、國內產出額年約百廿萬噸程度にして需要の七六%を海外に依存してゐる上に年約三百十萬噸の銑鐵需要があるに對し七〇%程の自給力を有するに過ぎざる、アルミニユームは近く自給の域に達する豫定の由なるも昭和十……一年度において五八%の不足……用十七萬噸、計三十三萬噸（全體需要の二九%）を北米、北歐に依存してゐる狀態にして以上の如き日本に於ける重工業原料資源の飢餓狀態にある危險性より、日本と不可分關係にある我國の豐富な重工業資源の補充、更に有時の際に於ける必要資材の現地調辨の日滿兩國の最高需要に適合す……

商況欄　六日後場

株式相場

新京取引市況（六日後場）

手形交換高（六日）

新春揚子江岸に
將兵朗々大捷の歌を合唱
陣中の意氣軒昂！

"歌へ歡呼の春"

【南京六日發國通】南京から程遠からぬ此處揚子江岸にも樂しい正月が訪れ、皇軍將兵一同は今はすつかり正月氣分に浸つて元氣な笑顏をみせてゐる、この街には早くから電氣がつき水道が通り支那人の散髮屋が出來、避難民は續々歸つて全く平和な街と化してゐる、鷹森部隊本部では『陣歿將兵之慰靈』と大書した額の前に線香を立てゝ戰捷の正月を一緒に祝ふのだと部隊長始め將兵一同の顏は明るい、その他各地に駐屯する川並、石井、田上、武田、栗岩、中島等各部隊でもよき正月を迎へたが、記者が○○本部に別れを告げて歸らうとしたとき、衞兵詰所の二階から豪傑節の合唱が聞えて來た、これは田代部隊長の上海戰における戰績を歌つたもので次のやうなものである

一、右に吳淞、左に上海　獅起輕くす○師團
二、北は羅店南大場　劉家行の蜿蜒もなんのその
三、走馬塘クリークを渡れば　大場逃ぐる敵をば蘇州河
四、雨は降る降る人馬は濡れる
五、越すに越されぬ蘇州河　蘇州河渡りて南市の封鎖　上海占據に實を結ぶ
六、御稜威棚引く南京入城　東洋平和の鐘が鳴る

濟南居留民の被害狀況
總額六百萬圓に達す

【濟南五日發國通】親日の期待も空しく結局北支第一の損害を受けた濟南日本人居留民の被害狀況については居留民團役員の調査によれば民間の被害總額は約六百萬圓、他に濟南病院だけでも百數十萬圓の見込である、現在までに判明せるところでは四百五十戶のうち完全に殘つてゐるのは特務機關官舍、副領事公館、民國宿舍、東本願寺のほか小さい民家十二、三軒に過ぎず濟南病院は二階建本館を全燒し、病棟、看護婦宿舍は僅少の被害、領事館は公館、演武場を殘すほか全燒、測候所も全燒、日本人小學校は講堂だけ燒失し燒殘つた部分は全部掠奪、滅茶苦茶にされてゐる忠魂碑の遺骨、位牌は內地へ持歸つてあるか鐵門內の扉を奪ひ去られてゐる、民間では鶴屋、金水旅館、森本雜貨店、三泰當の大きな建物が全燒、三大馬路、緯三路、緯七路の邦人商店街三十餘軒は無殘に掠奪され、殊に支那人街と境を接する緯十路の邦人住宅店舖は何一つ殘さず完全な掠奪振りである、この外各倉庫の被害も甚だしい、これらの復興には尠くとも二ヶ月はかゝるが、食糧、宿舍などの關係で天津に焦躁待機する居留民も入れることが出來ず十五日から世帶主廿名宛入市させ復興に努めさせることになつたなほ高岡民團長は六日急遽濟南より東京に向ひ休會明け議會にこの補償復興費の要求を圖ることゝなつた

上海共同租界の工場灰燼
九百に上る

【上海五日發國通】共同租界內の東部及び北部工場地帶にある各種工場の戰火による被害狀態につき五日發表された工部局の調査によれば完全に灰燼に歸した工場數は主として小規模のもの九百五工場に達し、事變前の使用職工數は三萬一千餘である、この外支那人所有の大小工場約一千は大修理を加へねば到底作業再開出來ぬまでに破損され、大工場の機械類は殆んど使用に堪へぬものが多數を占めてゐる、これに反し外人經營の工場は邦人經營の瑞寶洋行所有にかゝる油、澱粉工場外一工場が灰燼に歸した外は何れも比較的被害程度輕微で支那人職工の復歸を許可されゝば直ちに操業を再開し得る狀態にあるが、目下各工場とも作業再開の際において職工の不足、能率低下、原料品不足、需要の減退、配給組織の破壞等の諸原因によつて事變前と同樣の作業率に回復することは頗る困難とみられる、假令事變前と同樣に回復し得たとしてもその收容職工數は最大限四萬名を出でざるべく事變前の十三萬五千名に比し三分の一以下に過ぎない、しかしてその內支那人工場のみについて見ればその收容職工數は右の僅か七分五厘の三千名を超えないものとみられる、前記完全に破壞されたる九百五工場の內主なる業種別左の如し

業種	工場數
機械及金屬製品	四一〇
紡績	一三六
印刷及製紙	七五
金屬工場	七二
化學藥品	四九
衣服	四四
飲食糧品、煙草	四〇
木工業	二三
その他	五六

民間から民衆救濟策
臨時政府の特質

【北京四日發國通】新春を期して諸般の整備を完了した中華民國臨時政府は茲に愈よ本格的機能發揮の緒につかんとしてゐるが、新政府組織の最大特長をなしてゐる賑災部では大衆生活の安定方策につき萬遺憾なきを期するため救濟方法に關する意見を廣く民間からも求めることゝ決し四日これを發表、民衆政府の特質を發揮し一般に好感をもつて迎へられてゐる、右發表は左記項目に分けられてゐる

一、災區救濟計畫　二、一般救濟計畫　三、食糧調節方策　四、義金募集方策　五、各區救濟事業

日本民族の大陸還元
(A)　陸軍少將　金子定一

一、世界戰國と日本民族

人類の社會に於て血の結びより強いものはない、母の子を慕ふ心・それが象徴だ、如何に頑強な共產青年でも慈母の愁訴にあつてはその理論を放棄せざるを得ぬ、現にソヴイエトロシアですら漸次に民族主義的色彩を濃厚にして來てゐるではないか

大きな眼をもつて見れば今、世界は大變革運動の渦中にある、正に世界戰國だ、歐洲大戰はその開幕であつた、獨逸を中心とする改革派は一敗地に塗れたが、彼は民族主義を明白に標榜して再起した、英國を中心とする保守派は戰には勝つたが、彼等が從來據つてゐた商業主義は破綻を來した、其間にロシアの共產主義が躍り出したがこれも時の問題だ、英國もソヴイエトロシアも結局民族主義的に傾いて來るのは當然である、民族が本來でその他は何人も知らざる「時の方便」であつたのだ、獨伊は今「歐洲の擁護」を叫けんでゐる、歐洲大戰は「文明擁護のたゝかひ」と英米佛によつて唱へられたのであつた、日本にとつては防共のため或は日英同盟の誼以外の何者でもない彼等とても五十歩百歩だ、即ち歐洲戰爭もその後における歐米の動きも歸するところは民族鬪爭を殘すのみとなるであらう、一時は國民、人民いろいろな名で呼ばれようとも……

今、日支が戰つてゐる、世界變革運動に參加するため、まづ東洋の形勢を決定しようとするのだ、日本は「東洋人の東洋」を實現せんとし歐米の保守派は支那の權力者を操縱しこれに加勢し、これを前衞として「西洋人の東洋」を維持しようと懸命に努力してゐる

「西洋人の東洋」において英、ソ、米各爭ふべきものがある、然し「東洋人の東洋」は彼等の大敵だ、これを主張する日本に鬪する限り彼等が或程度の結束を示すのは當然である、且それが彼等の民族的本能でもあるのだ、獨伊の立場は別にある、彼等は「東洋人の東洋」運動を暫く我慢してゐて、日本の力をひいて西洋における自己の立場、世界における自己の立場を有利にしたいのである

その關係を離れて日本と支那だけを觀てみやうか、日本は自らを指導者とし、自己の指導精神をもつてする東洋を實現したいのである支那は少くとも現在の支那の指導者達には「東洋人の東洋」よりも日本の勃興そのものが頭にこびりついてゐる、東洋が西洋人に支配されることは好ましくないにしても自國が日本に從つて行くよりはましだとしか考へられないのだとも見える、然しそこには理論を超越したものゝあることは爭へない、且又支那の指導者の心事は簡單ではない、これはまた別に考へる機會もあらう

世界の變革は已み難き勢だ、歷史的必然の運命だ、歐米は歐米でその渦中にもがいてゐる、東洋は東洋でこの通りだ

日本民族は世界變革運動において東洋の主役、否世界的主役を振り當てられた、この役は依然たる鎖國時代の延長たる人口は假令一億になり世界の廿分一になつても、世界總面積の三百廿分の一しかない島國日本では動らない、日本民族は大陸に進出せねばならぬ、蓋し大陸こそは舞臺なのである、我國が好んでも好まなくとも日本民族は大陸にこの數十年來引出されつゝある、最近それが加速度的に促されてゐる、これこそは日本民族の大陸還元なのである

以下數項にわたつてこの日本民族の大陸還元に就て語りたいと思ふ

二、同祖同胞これ民族

若し大陸還元といふ命題によつて、神秘的な散文詩など期待されるならば必ず失望するであらう、然し次の一語だけは記憶に止めて頂きたい

「獨逸も、日本の神道の樣な、民族道を持つ迄は、世界無敵といふわけには行かない」

これはルーデンドルフ元帥の言葉だ、但し「宗教」とつたのを「民族道」と直した、ナチスが獨逸民族の純血維持と共に「ゲルマン」古俗還元に熱中してゐる意圖もこれでよくわかる、といふものゝ日本としては何もそれに倣ふ要はない

民族とは何ぞや、同胞關係といふことだ、正しい父母から生れた子達の關係を兄弟と呼び、歷史的に祖先を同じくするものゝそれを同胞といふ、その同胞の一國が民族なのである

日本民族の血液は各種の大陸嶋嶼のものと交渉を持つてゐるであらう、昔、バチェラー博士は私の頭を撫でゝ「私は明治六年に西郷隆盛さんのおつむを撫でましたが西郷さんも貴方も隨分いろいろな血統を享けておいでゞすね」と言つたことがある、その根據は別として事實その通りであらうとは言ふものゝ日本內地人に向つて「貴方の先祖は何種か、インドネシアかアイヌかではないか」と訊いて見たとして恐らくは一人としてその答へに大和民族以外のものをあげる者が無からう、冗談には「何種の血が交つてをるかも知れぬ」と答へるものがあらうともそれは決して自負心からでも面子上からでもない、全くの事實に即したことなのである

人間、兩親のないものがない、兩親にも亦一双の兩親がある、祖先の數を計算すると一代遡る毎に自乘乘をもつて擴つて行き、十五代前には六萬四千以上、二十五代前には三千萬といふ夥しさになる、即ち二十六代前の祖先の數は現代日本內地の人口と匹敵することになるのだ

二十五、六代前といへば五六百年の昔だ、さう遠いことではない、足利時代かせいぜい南北朝時代の頃になるその頃の日本內地の人口は二千萬を出なかつたらうけれども、嚴格に考へて見れば何十何代の先祖が皆一樣に同一年代に生きてゐたといふ譯でもあるまいから、まづ前後數百年にわたつて存在してゐたものとしてその頃の日本內地に生を享け、今日に子孫を殘してゐる人々は悉く我々現代日本內地人の共通の祖先といふことになる

即ち日本內地人お互の關係は同胞、その總體が日本民族なのであつて、日本民族は千年とはいはず、數百年を遡ることによつて共通の祖先を有し、逆に數百年の子孫は皆お互の共通の子孫といふことになる

民族は末廣く無限に擴がる網だ、そしてその結び目が個人とか一家族とかである、網は一點の破綻も許されざる如く、民族中にあつては一人一家の反民族的行動は決して在るべからざることだ、日本民族といふ大きな網が大陸を覆はんとするとき、ことに其結び目、結び目の丈夫に維持されることが何よりも大切であらう

三、日本民族　半島の同胞　大陸の友胞

大和民族の生粹は天孫民族その大宗家としては畏いことだが、皇室を擧げねばならぬのみならず數百年前に生を享けて今日まで子孫を殘してゐる同族中にも一層畏いが、御歷代を含めて考へなければならぬ、吾々の血液のうちには神代、上代に遡るまでもなく且一人の例外もなく尊い垂統が傳はつてゐるのである

我々の家の系圖に乘り神棚や佛壇に祀られてある祖先といふものは、その家に生れて又は他家から嫁して來て其家で一生を終つた人々のみであつて、事實上の先祖は母の實家、祖母の實家に嫁して來た人々の實家の先代から先代へと限りなく遡つての縁家のすべてに祀られてゐるのである

我々が親戚縁者の先祖を拜むわけはこゝにある、事實上すべての日本人はお互に親戚縁者であつて、前の計算に從へば多くとも廿數代遡れば如何なる地方の內地とでも共通に必ず祖先同士を介して血の連りを發見出來る筈だ

天孫民族が非常な優種であつたことは疑ふ餘地もない、歷史的にさへ着々指摘出來るのだ、この優種が他の諸族と血統を交へるに當つて非常な勢をもつてその繁殖、繁榮を來した事實も亦、科學的にも歷史的にも確實證明が出來、歷史的にも確實に考證し得る、今はその機會とも考へられないからこゝには述べない

古代にあつては、今日以上に血族結婚が行はれ、ことに尊い血統にあつては可なりの近親の間さへもその必要に迫られてゐたことは一面優種の發展のためであつたらう、そしてその優種が急速な步武をもつて國內に普及したことも前に述べたところであつて我々には孫民族以外の血液が交つてゐるとしても人の想像するが如き多量ではないと思ふ

この近親結婚は他の一面においては前に擧げた祖先數の無限の展開を抑制するものである、何となれば從兄妹間の結婚が一度行はれるとその間に生れたその子の三代前からの祖先數は四分の一を減じ、異父母兄妹の結婚はその子の二代前からの祖先數四分のを減ずることになり、民族太初まで遡つて考へるとその元祖は一對の男女にてさへ足りるのである

古代における日本民族と朝鮮民族との關係又朝鮮民族を介して又は介せずして滿蒙民族その他一般ツラン民族との關係、支那各民族とその他との關係も考へ來れば實に津々たる興味を覺える、アジア諸民族は單なる地縁のみではない、血縁があるのだ、今や日本民族はその同胞の意義を擴大して或は半島同胞と呼び、或は滿蒙支那の友胞に呼びかくべき時となつて來た、それにつけても日本民族が東亞復興の指導者として同胞友胞のために起ち祖先の志を成さんとするに當り日本民族の大陸還元を唱へることは別に[illegible]と思ふ

けふの番組　七日(金曜日)
【M・T・C・Y　新京放送局】

朝

七、五〇　ラヂオ體操・入港船のお知らせ(大連)
八、一〇　ニュース
八、四五　朝の音樂(大連)
九、〇五　經濟市況(東京)
九、三〇　經濟市況(東京)
九、四五　建國體操

晝

一〇、四〇　經濟市況(大連・新京)
一一、三五　經濟市況(大連)
一一、四〇　經濟市況(東京)
一一、五九　時報(東京)
〇、〇〇　一晝の演藝　義太夫　近頃河原達引　堀川の段　淨瑠璃　竹本一講　三味線　鶴澤友十郎　ツレ彈　竹本才太郎
〇、三〇　ニュース(東京・新京)
一、〇〇　經濟市況(大連・新京)
三、〇〇　經濟市況(大連・新京)
三、四〇　經濟市況(東京)
四、〇〇　ニュース・氣象通報(新京)
四、四〇　經濟市況(大連・新京)
五、二〇　朝鮮語ニュース・演藝(奉天)

夜

六、〇〇　子供の時間(東京)　世界偉人傳　八幡太郎義家(二)　脚色並演出　東京放送童話研究會
六、二〇　コドモの新聞(東京)　關屋五十二
六、二五　趣味講演(牡丹江)
七、〇〇　ニュース(東京)
七、三〇　ニュース・告知事項・番組豫告(新京)
管絃樂(東京)　日本放送交響樂團　指導　アウグスト・ユンケル
歌劇　天國と地獄序曲　オッフェンバッハ作曲　外三曲
八、〇〇　人情噺　芝濱の革財布　桂文治(東京)
八、三五　長唄名曲選(第十回)(東京)　鶴龜　唄　吉住小四郎　同　吉住小兵衛　三味線　吉住小桃圃　同　稀音家和三郎　同　稀音家三郎助　上調子　稀音家四太郎　笛　望月長之助　小鼓　望月左吉　大鼓　望月吉三郎　大鼓　望月太左吉
九、〇〇　時事解説(東京)
九、二九　時報・ニュース・ニュース解説(東京)
ニュース・氣象通報・告知事項・番組豫告(新京)
一〇、二〇　ニュース再放送
一〇、三〇　北滿の時間(哈爾濱)
アナウンサー　野村　宮岡

新春映畫界の巨彈
小杉勇一行の來演
八日から新京キネマへ

戰捷新春映畫街に俄然巨彈が投下された。それは昨年度映畫界の最高演技者として「裸の町」「限りなき前進」の二大傑作に次いで新春封切の力作「五人の斥候兵」によつて燦然と輝く日活の名優小杉勇の來演である。而も小杉勇は今回の新京キネマ出演が最初の映畫館に於ける實演といふので愈々ファンの興味をそゝつてゐる

"トーチカ娘"を實演
豪華を誇る配役決る

八日から三日間新京キネマの舞臺を飾る日活多摩川の花形俳優は日本映畫界の名優小杉勇をはじめ、「人生劇場」「蒼氓」の名花黑田記代「制服を着た處女」で新人として賣出した歌劇出身の楠公子それに美貌と妖艶を以て知られてゐる松平富美子のスターが揃ひ、實演の演し物は渡滿に際し特に撰出された「トーチカ娘」で、小杉勇の山下一郎、その妹百合子に楠公子が扮し、松平富美子はその友人よし子でよし子の母きめ子が黑田記代といふ豪華を誇る配役で力演するから正月興行隨一の呼び物である。同時に封切られる映畫には

●五人の斥候兵

と「自來也」がある。「五人の斥候兵」は新春映畫界のホープで文部大臣賞、內務省警保局推薦、また關東軍新聞班より推薦された現實に生きる深い軍事時局映畫で、主演は來演の小杉勇、見明凡太郎、星ひかる、伊澤一郎、井染四郎、單なる北支一部の戰線を描寫したものでなく、皇軍の眞面目、軍人精神を神として、又人間的に觀た崇高な全面を具現化し得たものとして賞讃推奬されてゐる。

推薦狀
「五人の斥候兵」
日本活動寫眞株式會社製作
株式會社滿洲映畫協會提供
右映畫ハ國民教育ノ資料ニ適切ナルモノト認メ推薦ス
昭和十二年十二月二十八日
關東軍新聞班

忍術「自來也」は片岡千惠藏の主演に多摩川現代劇部から星玲子が特別出演して綱手姬を演じるほか河部五郎、瀨川路三郎、宗春太郎、香住佐代子、成宮歌子等のビッグスターズの興味横溢の忍術映畫でマキノ正博の冴えた手腕で大衆的興味を狙つたこれ亦新春映畫界に斷然頭角を拔いた作品である

名畫續々登場

次週には稻垣浩監督の「飛龍の劍」と日活專屬の浪曲映畫、東家樂燕口演の「[illegible]の花嫁」と「男の叫ひ」があり、續いて千惠藏の「無法者銀平」、杉狂、星玲子の「まごゝろ萬歳」、悅ちやんの「あたし幸福よ」と新京キネマの銀幕に登場することになつてゐる(寫眞上自來也　下五人の斥候兵　黑田記代)

謹賀新年

……二等入選創作……

春祭り

酒井悦子

（一）

…一…

戸の外は嵐になつた。燈影は寂かで壁の肌も土間の陰も沈んだ樣に密やかであつた。

壹子は膝の上の日記をそつと机の上に置いた。激しい雨の音が窓を叩つ。立ち上つて行つて窓の暗がりを透してみた。父親の足音は未だしない。

窓下の明り際に矢の樣な雨脚がみえてばしやばしやと筧を傳ふ雨の音と家を圍む直ぐ近くの木立を吹く風の音がしてゐた。

「江口さん滿洲國入りだつて、榮轉なんだ。」

工事に行つてゐる欽二郎が來てゐてそんな事を云つた。其の頃から雨が降り出してゐた。

欽二郎は細い雨脚を覗きながら

「さうさう、壹ちやんは傘と一緒くたに吹き飛ばされようとした事があつたね雨の日に。」

彼は優さしい目色で、無口になつて考へてゐる壹子に云つた。

壹子は顔を上げて窓の外を覗た。白い雨脚であつた。

彼女は、雨の中で傘に彈ける音がどきどきと小さな心を興奮させた事や其の時の其の大きな蛇の目を想ひ出した。

白いエプロンを掛けた筒つぽの欽二郎が頭を抱へて雨の中を走り出て來る、壹子が逃げて行くのに風が吹いて來て傘を吹き飛ばさうとした。激しい風であつた。

壹子は必死になつて傘の柄にしがみつきながら風に吹かれた。風は吹きまくり吹きまくり後から後から吹いて來た雨を叩きつけるので顔も髮もびしよびしよに濡れた。

壹子が伯母の藤江の許に預けられてゐたのは父親が今の果樹園を始める樣になつた頃である。

壹子は雨を覗てゐる。

欽二郎は床に落ちてゐる鈍い影縮から顔を起した。するといらいらと落ちつきのない壹子の視線に出合つた。

「何故、そんな目付をするの？私が。何か悲んででもゐると思つて！」

彼女は突然いら立たしく叫び意固地になつて白い目をする

「僕はね。壹子が江口さんの奥さんと友達だと思つてゐたのさ。奥さんが君を好きな樣に。」

それから彼はことことと部屋の中を歩き廻つた。

壹子は椅子の背に身を伏せて瞼を押へてゐた。

欽二郎は帽子を取つて出て行かうとした。

「歸へつてはいけない」

と彼女はとんで來てドアにしがみつき

「頭が痛かつたの。仲直りして歸へつて頂戴」

壹子は自分の額を叩いて泣き笑ひした。

…二…

朝餉の匂が漂ふ。

窓硝子は呆んやりと水蒸氣に濡れてゐて杏の枝影にしめやかな小雨の音が灌いでゐた。

壹子は餘韻のある澄んだ鐘の音が好きであつた。

燈明の揺れてゐる前で手を合せる。お祭りしてある佛樣の御名も知らない。御像が少しでも外を向いておられると必ず自分の方に向けてお祈りした。

同じ棚にむづかしい戒名のお母さんがお祭りしてある。

「何をお願ひする？」

と父親が尋ねた事があつた。

「『佛樣の御自由にして下さい。』と」

と壹子は即座に答へた。

父親は不圖そんな事を想ひ出しながら茶湯台の上の赤い饕縮をみてゐた。

閉ぢた瞼うらに亡き人の若いイメーヂが髣髴する。

「さア。佛像に御挨拶してらつしやい。」

と突然彼の想は破られた。

布巾を除りながら壹子がにこにこと顔の直ぐ近くで笑つてゐる

「うん。何？」

と彼は慌てゝしまつた。

飯台に向つたまゝ佛に尻を向けておどけてポンポンと拍手を打つた。

「ねえ。お母さんは、やつぱりちやんと御挨拶して頂きたいと思ふでせう。」

彼は立ち上つて行つて手を合せて鐘を叩いた。

壹子はお父さんが小いさな佛壇を壞してこつこつ木を削つてお位牌を作つてゐた事を覺えてゐる。

何かしんみりと遠くを見て居る目をみるときつと何時もお母さんと何か話してゐるのではないかと考へる。

晝頃になると雨が小止みになつたので父の維三は氏子の相談で又民會に出掛けて行つた。

其の留守に伯母への手土産に紅玉や國光等を籾糠の中から出して籠に詰めたりしてゐると當の藤江が市場の歸りだとわざわざ立ち寄つた。

「壹ちやんの所にいい置皿があつたわね、徳利の袴も借りて行かう。」

茶の間でお茶を呑みながら、西洋人の樣だとか何時でも三尺を締めてゐるのか等と壹子の和服姿を珍らしがつてじろじろ眺め廻した。

「お甘しいお茶だこと。お祭りに着物を着るといい。さう。それがいいよ。」

藤江は突然の自分の思ひ付に非道く氣を良くしてはしやぎ出した。

二人は衣調べの爲に立ち上つた。

薄い陽の翳る物置の樣になつてゐる四疊半で顔をつき合せる樣にして坐るとふと二人の間に氷の樣な淋しい心が流れた。

一寸の間であつた。

藤江は長持の定紋を撫でながら

「母ちやんはお馬でお嫁に來たんだよ。綿帽子を被つて。」

それから壹子の手を取り

「壹ちやんは母さんに似てゐないねえ。一寸も似てゐない樣だ。」

と云つた。

「壹子ね。うろ覺えたのお母さん覺えてゐないの」

藤江の手をもて遊びながら

「伯母さんが母さんの樣な氣がしたり時々わからなくなるの。お母さんは綺麗だつたつて？」

伯母の片つ方の手が吃驚りする程强く握り締めた。

「可愛いい娘だつた。そりやあ」

伯母は

「着物みてみようね」

と突然握つてゐた手を離した。

長持の蓋を開けるとナフタリンの匂がした。箱の半分は不必要な軸物や床置。記念品等が場を占めてゐる。

「逐々、壹ちやんが着る樣になつた。」

と藤江は青綸子の袷を膝の上で匂を嗅いだ。

「壹ちやんが學校の寄宿にゐた時も時々虫干をしてゐたんだよ。」

それから默つて殊珍の丸帶などぽんぽん叩いて思ひ出した樣に

「昔のは地が良くつて本當に落ちつきがある」

等と云つた。

「伯母さんは何か考へてゐらつしやる樣ね」

「何を云ひ出すかと思へば—そりやあホホお父さんが泣きながら抱いてゐた子が此んなに大きくなつてゐると思ふとねえ」

「だつて！さうかしら？」

「いやな壹ちやんだよ」

藤江は壹子の肩に手を掛けた

「明日の晩髪を上げようね。馴らさないと。父さんを吃驚りさせて上げよう」

（つゞく）

作者の言葉　文學の純粹性或は大衆性。純文學と大衆文學との領域問題等がもう人の耳を訝しがらせたり考へさせたり少しもしなくなつてゐる。

これはそれから二年程の間の夥しいヂヤアナリスティックな問題の洪水に押し流されたのか、それとも或はもう論外の對象だと認められた事によつてであるか。

兎山、純文學と大衆文學とは依然と存在し作家達は倚垣を隔てゝ對立してゐる

しかし、最近澎湃として起り動きつゝある文學探究の精神、文學本道に精進しようとする若い逞ましい思潮は感ずる事が出來る。

私は簡單に（勿論一般大衆の向上と云ふ事も考へなければならぬが）大衆を動かせない樣な大文學は有り得ようとは考へないし、興味本位に文字を似つて事件を羅列した丈でそれが全部文學だとは云へないと考へてゐる。

しやべり出すと私は段々不愉快になつてしまひますこれは何よりも自分自身の賤しさに鼻持ちならぬ氣がして來るのでせう。

是迄私は自分を甘かし、年齢に妥協し過ぎ、夢を圍ひ續けました、眞理を恐れて遠ざけて來た樣です。

私は大人になる時季を待つてゐたのかもしれませんつてゐたのかもしれません

今年こそ、殼を破つて健實な精進の一歩を踏み出す決心です。

現實の生活の中から、生々しいそしてその迫力に壓搾されさうな人生問題を力いつぱい把握してみよう。

こんな感想でいいのですかさう。それから

—才能は長い辛抱である—フローベルがモーパッサンに與へたものの樣に記憶してゐますが是はいい言葉です。

人生の眞理。美と云ふこと。善について。——。

文學の新しい一つの泉を掘り下げようとする歡び—つで身に過ぎた、分析、或は探究のメスを揮りかざすのですが私は荷の重みによろよろと跌づいたり、息をつまらせたりします。

ヘタヘタともう立ち上れない程崩れ折れたりしますそれで捨てきらぬ所をみると因果なものでせう。

（略）（歷）大正七年關東州に生る。旅順高女卒。三才流盤景敎授（酒井悦子）

……新年文藝……

短歌　甲麥　水棹選

一等

新京　向山勵

天地に正しさを闘ふ砲並めて皇國日本年明けにけり

二等

大阪市　木下ちか子

をみなわれいのちは燃ゆれ家にゐて勵むばかりに諦めむとす

愛媛縣　村山露男

彈傷の癒えざるまゝにあけし年を心靜めてことほがむとす

三等

大阪市　中西榮美三

戰局はひろがりつれど將士みな東おがむ朝晴れにけり

同　手塚蘆江

出征の兄に捧げし蔭膳の冷えし雜煮は分けて戴く

靜岡縣　錦木一夫

戰場の兄より來る賀狀には召されし馬の事案じあり

佳作

大阪市　谷上草眠

召され征きし友の老父の野良に出で働きゐますみ姿にあふ

新京　谷岡明星

心急ぐ首途の前のひとゝきをひざにあやせば吾子は離れず

北海道　古川彰次朗

初風呂の沸きしを島の人々に告ぐる柏子木いま鳴りにけり

仁川府　矢内仁美

海越えて起き伏す山のみゆる限いづことも知らず夕陽に望む

大阪市　斯谷樵人

旋盤の機械ひそまる工場に初日明るく射し入りにけり

岐阜縣　時田智

聲高に時局を語り人ゆきぬ朝まだ早き渡場のみち

山口縣　西村水月

細やかな内職に得し白銅貨こよりに結び戰債を買ふ

新京　代永豐

年牌を貼りてこもらふ巷家折々豚の聲さわぎつつ

吉林　深川平治

觸る手に馬の毛並のやはらかさ額撫でをれば眼をほそめたり

新潟縣　浦野三作

つるし柿干洪せがめば仕方なく從弟の來る日待ゝずして食ふ

選後感

選をし乍らまづ驚いたことは內地各府縣からの投稿の多かつたことで總數百五十一名總數四百卅七首の中過半數が內地、滿洲が却つて少く數も夫々準ずるのであるが、これは新京日日新聞が如何に內地各方面に歡迎せられ讀まれつゝあるかを痛感させられるもので社の爲に大に祝福した譯であつた。從て全部目を通して考へたことは〝內地の人達には既に內地らしい傳統があつて歌もよく整つたものが多いがその代りに異彩を放つといふ方面が少く、滿洲在住者の方は傳統によらぬ特色が認められる鬪に表現が幼ないといふ二つの判然したものが直感された。これは無論滿洲在住者により多く期待されるものゝあることを暗示するのであつて、私は將來を刮目してゐたいと思ふ。

一等　向山勵氏の歌は把握が雄大で聲調が堂々としてをり、正に日本國民の氣槪を代表する佳品である。時局の新年を歌つたものとしても白眉

二等　木下ちか子氏　銃後の女性の自覺が誠に美しく力強く表現されてゐる。是は時局連作の一首であるが時局ときりはなして見ても佳作である强い主觀に漲る熱情▲村山露男氏　戰線にうけた傷痕がまだ癒えず、哆嗦にも見ゆるは戰場のまぼろし、自ら昂奮のしづまらぬの上、戰友の死傷に神經をおし靜めてこの戰捷第一の新年を讃かんとする作者の一處中に心が人をひきつける

三等　中西榮美三氏　大きい境地に立ち對ひ乍ら第三四句以下を具事具象化して結局を下すほぎりにせず確かに据ゑた所凡手でない。明朗な戰地の元旦の氣分▲手塚蘆江氏　出征家族の新念の心が一碗の雜煮によつてよく表現されてゐる。眞情流露▲錦木一夫氏　戰場の兄が召されし愛馬を思ふ心を表現して家族が出征の兄を思ふ心と彷彿させてゐる斷感深い。

秀逸　谷上草眠氏　稍舊觀念の匂を感ぜぬでもないが、第五句によつて俄然生きて來た。寫生句の成功▲谷岡明星氏、表現の素直さが境地の纖細さをひきたてた迫力である▲古川彰次朗氏　北海道のある部落の新年の氣分が初風呂の拍子木の中に十分にとけこんでゐる「今」の一字の注力やいかに▲矢内仁美氏　旅情と望鄕の念無言の裡にしくしくと感ず第三句切も中々にきいてをり第四句は特に一首の氣分に重大の役割を持つてゐる▲同斯谷茂氏　常に活動しやまざるものの靜止に對する安息感の深さに明澄な初日のいろは特に清新の感を導く。▲時田智氏　靜中動を表現しそれが時局に觸れゐる點をよろこびとする▲西村水月氏　危く自己滿足に墮し易い境地を淡々と表現して迫力をもたせ特に第四句の寫生が第一二句を生かしてゐる。▲代永豐氏　稍單調であるが地方色が表現されてゐる▲深川平治氏　生物に對する愛情でもあるが寫生のたしかさと感覺を歌つて伸びゆく質を示してゐる。▲浦田三作氏　把握も表現も幼ないがこの純情と素朴さはやがて大成の第一歩である。

其他佳作一、二各長所を認められるが文字通り一夜の時間の餘裕もないのでこれ丈に止めておく。

長詩（入選佳作）

元旦賦

東京市向島曳舟小學校　山田仙史

海に　ひるがへる　鱗の群に
ほとばしる　熱情の　波だ。
湧きあがる　進軍の　怒濤は
かさなる　山岳の　峯を　想はせて
押迫まる　堅壘を　崩してゆく。
大地は　永遠の　平和、
悠々たる　容貌、
黒髪は　輝いて　つゞいてゐるのだ。
尙とく　恒の叫びか
理想に　生くる　祖國の聲。
見よ　海を
見よ　大地を
向上の　生々しい　體軀を。
爆竹は　空に　描く　魔術、
喜びの　掌が　頰に　下りてくる。
瞳に　映つる　樂天の　府は
心の　なかに　活動を　初める。
火の神！
たくましき　能力
火箭が
跳ねて　ひろがる。
おゝ　元旦の　太陽！
海に　つゞく　この大地に
人間の　感情を　照らして
廻るのだ。
おゝ　均齊の　良き　熱情の炎！
ひざまづく　人間の　瞳の
彼方！

虎

新京梅ケ町一丁目一條アパート　棚木臥龍

李公館の長閑な小春日
ベランダに出された
巨大な虎の皮
かゞやく全身にいつぱい陽をあび
今し猛虎は鋼屛をたてゝ
みなぎる燒焦に
黒い濤を走らせ
總身の黄金毛を振はせて
佇てる小欄干に襲ひかゝらん
ばかりである。

給水塔

放斜路——
人はみなあの給水塔へあゆんでくる。
鐵骨が寄りあつて
給水塔を差上げてゐる。

秋景

農夫は風選に忙しい
驢馬は目隱しされたまゝ
一日、臼を引いてゐる
雁が空高く飛んでゆく。

鶴

狐色の濕地に
雪より白く花咲いて鶴が二羽ゐる
その氣高い姿にひかれ私は後を追ふてゆく
鶴は悠々歩みつゝ私を寄せない
私は幽寂な世界に遊び疲れてしまつた。

鷺娘

しと〳〵と葉末に雫る柳蔭ちら〳〵雪にしよんぼりと佇つ濡れ鷺が……
鷺娘、小袖の紅絹の艶めかしさ
戀に身悶ふ鷺娘ちらちら雪に狂ふもの
三味の音締に長唄に踊りに人は恍惚する
藝術の粋、象徴詩、鷺娘。

軍鷄に寄す

滿洲電信電話會社放送課　小野地光輔

朝なり
軍鷄はハタ〳〵と羽搏きぬ
翼には朝の光り砕け
光り砕け……
爽涼の大氣の中に
渾身の情熱を傾けて
軍鷄は今鬨をつくるなり
彼は太陽の子
光明と情熱の中より
生れ出でたるもの
彼は生きる力の把持者
生命の感動を感動するもの
踏張れる双肢は
逞しい存在感！
突き出せる胸は
生命の歡喜にふるふ
後悔と憧憬を知らず
瞬間に總てを賭けるもの
彼は總てをもつて鬪ひ
總てをもつて啄む
彼の瞬間は彼の全生命
逆立てる鷄冠の垂れる時
彼は巨木の如く倒れるだらう
燃え上る太陽の呼吸の中に
渾身の情熱を傾けて
おゝ！
お前は今朝も
瞬間の永遠性を
生命の抒情詩を
唄はふと云ふのか

譚

新京錦町二丁目錦寮十六　遠藤美津男

動いてゐる
無數の星は
—靈—
—無限なのだらうか
僕の歩いてるこの道は
何處迄續くことだらう
遠く黒くその先に—
—南と北に限り無く
靈界の塀壁が
別た世界を造つてる
總ては見たこともない
—知らないことなのだ
不思議な世界と
宇宙の神秘を—
人間は知つてゐる
謎な必らず次に來る
—無限なる宇宙—
と　みんな憬れてる。

皇帝に鰉魚獻上
松花江で獲れた卅六貫の大魚
重なる新春の瑞祥

さきに皇室の御繁榮を表徴する天然人參の獻上があつたが、またも新春の皇室を壽ぐ芽出度い鰉魚が獻上された、鰉魚は古來平民の口にするものにあらず必ず皇帝に獻上すると傳へられてゐる誠に芽出度いものであるが數日前龍江省檢樹縣より五里ばかり離れた松花江で獲れた周呼瑪縣長代理は鰉魚獻上のため六日來京、直ちに韓經濟部大臣を通じて獻上の手續きをとつた同魚は長さ七尺餘、目方卅六貫もあるといふ大魚で、廿年も經過したものである【寫眞は皇帝獻上の鰉魚、その左が韓經濟部大臣】

中央通警察署 執務前點檢

中央通警察署では非常時局の警察官としてその意氣を鼓舞する意味から毎朝執務前十分間を小澤署長先陣となつて全署員寒氣凛烈たる屋上に參集し點檢を實施することゝなり六日その第一回を行ひ今後毎日實施することになつた、同署のこの試みはやがて全署に及ぶものと見られてゐる

人見屬官慰靈祭

過般不慮の災厄に逝いた興安局人見二三屬官の慰靈祭は八日午後一時から日本山妙法寺に於て執行される

物凄い爆彈景氣!
桁外れホクく お正月
花街、ネオン街の揚り

非常時局下に於ける年末、年始は虚禮廢止、冗費節約の掛け聲に人心の緊張を一段と叫ばれて延いては景氣の最も鋭敏に反映する國都花街、ネオン街は一抹の不安を抱いて逝く年、來る春に待機したのであつたがいざ蓋を開けるとなるや俄然その不安をぶつ飛ばして舊臘から新春にかけての歡樂街の景氣たるやまことに物凄いものであつた、即ち昭和十二年に於ける大新京料理店組合の花代、酒肴料賣揚平均月十四、五萬圓と見られてゐるが業者の書入れ昨年十二月中の賣揚げは桁をはづして三十萬圓をはるかに突破、昭和十一年同期の二十四、五萬に比しても五萬圓以上の收入を見、さらに新春を迎へると共に各料亭は連日ぎつしり超滿員、この餘波を喰つて城內ダイヤ街方面組合及ネオン街また想像にかたくないところであるが、中には開店以來始めての收入であつたと自らたまげたと言ふ滿洲事變以來否かつて見ない好景氣に惠まれた花街、ネオン街であつた

ある業者ば
非常時局と言ふので例年の宴會はとり止めとなり客足もにぶいことであらうと豫想して隨分心配もしましたが、成程宴會は少かつた反面所謂四疊半のお客やひそかな宴會客に連日滿員、組合創設以來の好況を現出しましたが、今年に限つて諸官廳會社のボーナスが多かつたと言ふわけでもあるまいし、やはり事變景氣と言ふものでせうか
とこのところ業者はいづれもホクくとふくらんだ懷中にほくそ笑んでゐる

隣家の娘に惚れて 家捨てた息子
父苦しむと……悲しい搜査願

新春劈頭大經路署に送付されたこれは餘りにも痛ましい說諭願福岡縣飯塚警察署管內飯塚町上野米太郎氏(六七)の一人息子松太郎君(二六)=假名=は至極眞面目な青年で十九歲の春結婚、新嫁里子さん(二五)との仲も圓滿子供六つを頭に三人をもうけたがふとしたことから隣家のフジ子さん(二二)と相思の仲となり昨年五月松太郎君はフジ子さんと手を携へ渡滿來京の上同棲松太郎君は市內曙町三丁目建築業塚本某方に就職目下特別市五色街民生部工事現場に働いてゐるが、故鄕に殘された老いた二親と妻子六人は可細い煙りに淚の幾日を暮して來た當時妻女里子さんは身重で松太郎君出鄕後分娩、父親上野氏は「伜の性根が直らねば」と里子さんを一應親許に歸し後に頑是ない四人の孫を抱へ七十に近い老人の身加へて持病の喘息に惱まされ貯へとてない一家は刻々苦境に陷り遂に淚の悲痛な書面を以て署の力により息子を歸國せしめるやう助力を乞ふとの父親米太郎氏よりの說諭願出であつた、大經路署では痛くこの願ひに同情六日午後直ちに松太郎君及フジ子さん兩者を召喚安部司法主任、東司法主任兩氏によつて懇々とさとし戒め松太郎君は兩氏の勸告に謙然と悔悟歸國を決心したが、フジ子さんは目下流行中にあり「死んでも別れぬ」と泪の訴へ、このところ如何に裁くべきか兩氏も思案投首の態である

ラヂオ盜聽者
事變以來激增
放送局、取締りを徹底

新京市內に於けるラヂオの使用數は文化の發達に正比例して逐年增加を辿つてゐるが今次支那事變以來急激に增加し昭和十一年末には僅か八千餘であつたものが昭和十二年末にはその約二倍の一萬五千に上つてゐる、この數字は正式に加入したものゝみであるが最近無屆聽取者も相當增加せる傾向にあるので放送局では憲警機關と緊密なる連絡のもとに徹底的無屆聽取者の取締にあたることになつた因にラヂオの無屆聽取者は電氣通信法により一千圓以下の罰金に處せられることになつてゐる

新京聽取者數

支那事變發生以來在滿人の事變に對する關心と併行してラヂオの聽取者率は驚異的增加を示しつつあるが現在新京に於ける聽取者數は

內地人	一一四三七
滿洲人	二七四六
半島人	三四九
外國人	二三
計	一四四五五

となつて居り其の他申込手續中のもの二四三〇、これを九月末現在に比すれば一五〇〇の增加となつてゐる

錄音機購入 放送局はり込む

新京放送局では今次事變突發以來銳意刻々報ぜられる戰況ニユースのアナウンスに努力し、全滿聽取者の期待に滿足を與へて來たが、從來午前七時三十分東京で放送されるニユースは一應速記でとり新京から八時十分のニユースで放送してゐるが成績好からず速記の書き落しがあつたり、とかく不完全な點が多いのでこの度錄音機械を購入し東京のニユースを一旦錄音に收め八時十分よりこれを放送、ニユース放送の萬全を期することとなつた

臨時國都建設局 開廳式擧行

臨時國都建設局の開廳式は六日午後一時半より國建講堂に於て徐市長、關屋局長以下市公署側處科長、國建側全局員出席のもとに擧行され、徐市長、關屋局長の訓示、相川理事官の挨拶あつて二時過ぎ終了した(寫眞は開廳式)

鄉軍の陸軍始め
新年奉祝、勅諭勅語捧讀式擧行

在鄉軍人會新京聯合分會では八日陸軍始の當日午後二時より記念公會堂において五十嵐聯合分會長以下全會員參集の上左記式次に依り新年奉祝式及び勅諭勅語捧讀式をあげて昭和十三年の輝がしき出發を飾ることゝなつた
▲新年奉祝式
一、國歌齊唱
一、宮城遙拜
一、誓詞朗讀
▲勅諭捧讀式
一、勅諭勅語捧讀
一、聯合分會長式辭
一、來賓祝辭
一、萬歲奉唱

天龍体育保健協會入り

角界の革命兒元大阪相撲協會盟主天龍こと和久田三郎氏は殘務整理つき次第本月三十日大阪を出發渡滿することゝなつたが同氏は最初滿洲國民生部囑託の豫定であつたが種々の事情により體育保健協會囑託として在滿青年に對する角力道の鼓吹發達に精進する筈である(寫眞は天龍)

全日本氷上大會 滿洲代表

來る十四日より北海道札幌において擧行される全日本氷上選手權大會に派遣する滿洲代表は、六日試合終了後滿洲氷聯役員會において詮衡の結果左の通り決定、木谷總監督以下男女選手十二名は七日午後零時四十分發ひかりで一路札幌に向ふこととなつた
總監督木谷辰巳、スケート監督=森高、新ホッケー監督=森田良一
スケート選手
「男子」朴潤哲(撫順)、石塚庄三(撫順)三代正勝(撫順)、安達和男(新京)、中楠聯(撫順)、廣本治郞(新京)、(撫順)、(奉天)
「女子」江島八重子(奉天)汾陽泰子、今村俊子(奉天)、村山節子(奉天)、村山菊子(奉天)、峰下啓子(新京)、ホッケー代表、鐵道總局チーム
同大會終了後スケート選手は一月廿九、三十兩日諏訪リンクで開催される神宮競技に出場することゝなつてゐる、尚第二日午前中の成績左の如し
△男子千五百米 1朴(撫順)二分三五秒八 2石塚(撫順)二分四〇秒一 3清本(新京)二分四一秒一 4三代(撫順)二分四一秒四 5安達(新京)二分四二秒八
△女子一千米 1江島(奉天)一分五一秒五 2今村(奉天)一分五一秒五 3汾陽(奉天)一分五六秒四 4縄手(撫順)二分〇〇秒三 5峰下(新京)二分〇一秒一
△男子フイギュアー 1田中(新京)三八四、八 2中村(新京)三一三、三 3金(新京)二六二、四
△女子フイギュアー 1中村(新京)二一六、五 2寺島(新京)一九二、二 3岸本(新京)一八八、一
總得點左の通り
△男子部 1朴潤哲(撫順)二一三、一〇八 2石塚(撫順)二一八、七三一 3三代(撫順)二一九、二四〇 4安達(奉天)二二〇、一七三 5廣本(新京)二二〇、五一一
△女子部 1江島(奉天)二三五、一八三 2汾陽(奉天)二三六、八五三 3今村(奉天)二四〇、〇六四 4峰下(新京)二四八、三四三 5村山(奉天)二五〇、三八三
(試合終了五時)

岩間氏次女死去

鐵道北木材製材所岩間甲斐之助氏の次女多惠子さん(十四)は舊臘より病臥中のところ三日午前七時四十二分遂に死去した、なほ告別式は八日午後二時中央通り日本キリスト教會で行はれる

プレーンソーダ

來る十日恒例に依り記念公會堂で雲水會が盛大に擧行することとなつた、非常時局下の雲水連が集つて皇軍への感謝決議でもやるのかなどと早まつては不可ませぬ▼民生部藤山氏、長谷川放送局長米良大興公司、池部協和會、細川觀光協會主事の仲良し連が集つてお互に身の上ばなしをした結果▼どうして俺等はかう出世しないんだらう、いつそ坊さんの樣に浮世を棄てゝボンヤリ生き樣ではないかといふ趣旨のもとに昨年の正月發會されたのが雲水會であるそして今年は第二回目だ▼世話役は當番幹事の米良公司で何か變つたことをやらうと一生懸命趣をこらしてゐるが生臭き雲水共はて何をやらかすことやら

天氣と氣溫

けふの天氣 西の風晴
日の出 前八時一三分
日の入 後五時一七分
月の出 前十時四〇分
月の入 後十一時〇分
きのふの氣溫 最高零下十七度 最低零下二三度九

滿洲のほこり (下)
唸る鐵鑛脈
堀井宣之

□

南の花形大栗子溝に對し北方の雄と稱される老嶺の鐵鑛は通化、臨江縣境を走つてゐる老嶺山脈中にある、この山の鐵鑛が初めて發見されたのは昭和十二年五月の事である

滿洲國と滿鐵は共同して滿洲國內の地質調查を行つてゐるが、產業部大賜、滿鐵村越の兩氏がこの地方を分擔して入つた時匪賊に追ひ廻されて老嶺を北から南へ山越えしようとして山の澤に赤鐵鑛の轉石を發見した、その報告に依つて直ちに滿洲國產業部が調查隊を編成して山中に分け入り、七月廿三日午後一時に至り千四百八高地の中腹に露頭を發見した、調查隊は老嶺西方の林子筒に本部を置き超スピードに調查を進めた、現在は本部を老嶺山頂へ移して既にボーリングに移つてゐる

鑛量は或は富鑛一億噸と推定し、或は二、三千萬噸は確實だといふが、ボーリングの完了までは確かなことは判明しない、しかし何れにしても五十五%乃至六十%といふ富鑛を多量に埋藏してゐる事は東邊道鐵鑛資源中の重鎭である

□

大栗子溝、七道溝、老嶺はこれまで東邊道鐵鑛の代表といはれて來たが、最近に至り調查隊の人々をすら吃驚せしむる老大な鑛脈が新に發見された

去る八月產業部老嶺鐵鑛調查隊は匪賊の襲來を受けて林子筒の本部から通化へ避難して居たが、この時通化まで給料を貰ひに來た苦力頭が現場の老嶺に引返す途中、二道江の山麓で赤い轉石を發見した門前の小僧をきめ込んだ彼は「還是赤鐵鑛!好!好、」とばかりこの旨を御注進に及んだので調查隊から直ちに使者が派遣されて山中に赤鐵鑛の露頭を發見した、これについで九月に入り二道江と老嶺との中間八道江の山奧に鐵鑛が存在するらしいといふ住民間の話を官憲筋から傳へ聞いた老嶺調查隊が、こゝにも調查の手をさしのべたところ、こゝにも優秀な赤鐵鑛を發見した

ところが二道江と八道江の兩鑛脈を比較して見た調查隊は兩者が何れも珪岩層と石炭岩層との間に鐵鑛層が挾まれてゐるといふ同樣の關係を示してゐるところにピリッと敏感な神經を刺戟され、兩地間四十キロに亘つて一つの鑛脈が續いてゐるのではないかとの豫想をつけた

調查隊から直ちに三人の技師が派遣されて兩地間の山中に分け入つた、豫想は見事的中した、澤といふ澤には必ず赤い轉石があり、そこから山中へ分け入れば必ず鑛脈の露頭にぶつゝかる

十一月一杯かゝつてこの間を隈なく足を入れた結果、遂に延長四十キロに亘つて蜿蜒と波打つた鑛脈の連續を明かにした、而もその鑛脈の幅が二、三十米平均で厚いところは東端秋皮溝子の六十米、從つて鑛量にして見れば內輪に見積つても十億噸はあり、昭和製鋼所關係[illegible]の全鑛量に匹敵するものである、たゞ殘念なことにはその品位が露頭の部分は概ね貧鑛である、しかし東端に近い青溝子は七十%近い品位を見せて居りこゝだけでも七道溝と略々同量には見積られる、その他露頭の貧鑛のところでも地中に埋つたところは富鑛になつてゐるといふ可能性もあり、春になつて行はれるボーリングの結果判明するその品位が重大な結果を齎すわけである

□

大栗子溝、七道溝、老嶺、八道江=二道江の各鐵鑛は、かくて滿洲國、滿鐵の苦心に苦心を重ねた調查の結果東邊道尨大資源の一部として、その片鱗を覗かせてゐるが、通化省內にはこの四ケ所のほかに更に鐵鑛の存在がつきとめられてゐる

滿洲國、滿鐵共同して昨秋組織した通化省內未踏查地域調查隊は大栗子溝とその西方輯安との中間に四ッの鐵山を發見した、東から石胡溝、恒路嶺、大恒路、清溝子の順序であるが、まだ存在をつきとめたといふだけで掘割もボーリングもかけて居ないので、その品位も鑛量も判明しない此處の具體的調查も新春から進められるだらう

以上で東邊道における鐵鑛の狀況を略述したが、何分にも目下は調查の途中であり最近の八道江=二道江鑛脈の側に見る如く、調查の進捗に從つて如何なる驚異的な事實が出現するかも知れず、殊に最近有力なる匪頭金日成の討伐を見て、著しい治安の恢復を豫想される本年度における調查の進捗は期して待つべきものがあらう

□

さて東邊道鐵鑛の企業價値は如何、八道江=二道江間四十キロにわたる大鑛脈の品位如何に最も重大な問題であるか、假令貧鑛であつたとしても昭和製鋼所の例に倣つて貧鑛處理といふ手段を取る方法もあり、或はまた貧鑛を捨てゝ富鑛のみを採用するとしても大栗子溝、老嶺、七道溝、青溝子のそれを合計すれば充分の企業價値はあらう、而も製鐵事業に必要な石炭、マンガン、石灰岩等の諸原料が略々この地方に完備してゐることは、更に東邊道の資源を價値づけるものである

一方東邊道の鐵鑛を現地の製鐵事業に使用する以外に鑛石のまゝ日本へ供給し得るや否やといふ問題が當然考へられるがその可能性も充分あるものとされ、その場合は鴨綠江に面した大栗子溝が先づ適當た所と考へられる、もし現地の製鐵事業の鑛石手當を北方の老嶺八道江=二道江、七道溝の鐵鑛を主體とし大栗子溝のそれを專ら日本へ供給することゝした場合は、年々百萬噸乃至二百萬噸を採掘供給するとしても三、四十年は續き得る譯で、日滿兩當局の意を强うせしめるものがある

滿洲國產業開發に自給自足主義を政策として居る日滿政府當局が、東邊道の鐵鑛を現地のみの使用に限定するか否かは今後調查進捗を持つて兩政府當局協議の上決定することであらうが、何れにしても日本と異つて基礎原料たる鐵鑛を國內に有する滿洲國の重工業はそれだけ日本に對し優位を持つてゐる譯である、鑛石で供給するか或は銑鐵、鋼材等にして持つて行くか、或はさらに進んで自動車、その他の工業生產品として供給するか、何れにしても滿洲國は重工業に關する限り日本に對し供給國となる事は必定で日產の滿洲移轉を契機として滿洲の重工業が日本のそれを漸次凌駕するだらうといふことは、鮎川義介氏の夢ばかりではないかも知れない、何れにしても滿洲が日本に對して誇り得るものそれは鐵であると、豪言しても過言ではあるまい